

墨田区子ども・若者計画

(令和元年度～令和6年度)

令和6年度事業実績
令和元年度～令和6年度総合評価

墨 田 区

～ 目次 ～

「墨田区子ども・若者計画」概要	1
1 計画期間	1
2 計画の位置付け	1
3 事業数及び評価	1
4 計画に対する考え方	2
5 計画の体系	2
6 各事業の掲載	2
■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援	3
■方向性（1）基本的な生活習慣の形成	3
1-1-1 幼児教育の推進	3
1-1-2 幼稚園、保育所等、小・中学校での食育の推進	3
1-1-3 学校教育における生活習慣にかかわる指導	4
1-1-4 食育推進事業	4
1-1-5 健康づくりのための普及啓発	4
1-1-6 健康診査	4
1-1-7 栄養指導	4
1-1-8 エイズ及び性感染症等に関する普及啓発	5
1-1-9 たばこの害についての普及啓発	5
■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援	6
■方向性（2）確かな学力と豊かな人間性の育成	6
1-2-1 幼保小中一貫教育の推進	6
1-2-2 学力向上「新すみだプラン」の推進	6
1-2-3 教職員研修事業	6
1-2-4 学校支援指導員派遣事業	6

1-2-5 研究協力校（園）及び特色ある学校づくり推進校、グループ・個人奨励	6
1-2-6 人権教育	6
1-2-7 道徳教育の推進	7
1-2-8 SOSの出し方に関する教育	7
1-2-9 若年層に向けた男女共同参画意識の醸成	7
1-2-10 情報教育の推進	7
1-2-11 伝統文化等に触れ合う機会の提供	8
1-2-12 体験的な活動を取り入れた学習	8
1-2-13 夏休み自然体験教室（農山村生活体験事業）	8
1-2-14 自然環境学習	8
1-2-15 子ども読書活動の推進	9
1-2-16 健康と体力向上の推進	10
1-2-17 スポーツ振興事業	10
1-2-18 区民健康スポーツデー	10
1-2-19 総合型地域スポーツクラブ自立支援	10
1-2-20 スポーツ推進委員の活動	11
1-2-21 各種スポーツ活動	11
■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援	12
■方向性（3）社会貢献・社会参画の促進	12
1-3-1 地域力育成・支援事業	12
1-3-2 すみだ生涯学習センター事業	12
1-3-3 図書館における青少年活動の推進	12
1-3-4 クリーンキャンペーン	12
1-3-5 ボランティア推進事業	12
1-3-6 ボランティアセンターの活動	13
1-3-7 夏体験ボランティア事業	13

1-3-8 学校のボランティア活動普及事業	13
1-3-9 児童・生徒向けボランティアスクール	13
1-3-10 生産体験活動	13
1-3-11 自主グループ等への支援	13
1-3-12 音楽活動	14
1-3-13 墨田区のお知らせ等による周知	14
1-3-14 国際理解教育の推進事業	14
1-3-15 墨田区中学生海外派遣事業	14
1-3-16 オリンピック・パラリンピック教育推進事業	14
1-3-17 総合防災教育	14
1-3-18 消防少年団	15
1-3-19 学校防災活動の推進	15
1-3-20 起震車による地震体験	15
1-3-21 中学生区議会	16
1-3-22 すみだ少年少女合唱団	16
1-3-23 すみだまつり・こどもまつり	16
1-3-24 はたちのつどい	16
1-3-25 明るい選挙啓発ポスターコンクール	16
1-3-26 若年投票立会人	16
1-3-27 若年啓発グループ	17
■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援	18
■方向性（４）職業的自立の支援	18
1-4-1 キャリア教育の推進	18
1-4-2 子ども科学教室	18
1-4-3 ものづくりスタートアップ連携促進事業	18
1-4-4 ものづくりフェア	18

1-4-5 就職支援コーナーすみだ	18
1-4-6 雇用・就労支援サイト「ジョブすみだ」の運営	19
1-4-7 求職者支援訓練	19
1-4-8 職業訓練受講給付金	19
1-4-9 若年者の安定雇用の推進に繋がる各種助成金（国）	19
1-4-10 合同就職面接会等の開催	19
1-4-11 すみだ人材確保プロモーション支援事業	20
1-4-12 人材確保・就職支援コーナー	20
1-4-13 学卒求人申込説明会	20
1-4-14 中高生の就職支援	20
1-4-15 ヤング相談コーナー	20
■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備	21
■方向性（１）家庭教育への支援	21
2-1-1 家庭教育への支援	21
2-1-2 P T Aへの支援	21
2-1-3 「小学校すたーとブック」及び「中学校入学プレブック」の配布	21
2-1-4 家庭における読書活動の推進	21
2-1-5 子育て支援拠点事業	22
2-1-6 子育てひろば	22
■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備	23
■方向性（２）家庭・地域・学校の連携	23
2-2-1 学校運営連絡協議会	23
2-2-2 学校公開	23
2-2-3 放課後子ども教室の推進	23
2-2-4 学校支援ネットワーク事業の推進	23
2-2-5 学校による家庭訪問又は面談	23

2-2-6 学校における地域人材の活用	23
2-2-7 青少年育成委員会活動への支援	24
2-2-8 青少年委員活動の推進	24
2-2-9 学校安全ボランティア事業	24
2-2-10 携帯電話等活用した情報発信システム	24
■基本方針2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備	25
■方向性(3) 子ども・若者の育成環境の整備	25
2-3-1 すみだこどもの110番運営委員会への支援	25
2-3-2 帰宅呼びかけ放送	25
2-3-3 地域福祉プラットフォーム事業	25
2-3-4 子どもの居場所ネットワークづくり	26
2-3-5 児童館事業、コミュニティ会館事業、社会福祉会館事業	26
2-3-6 児童館における定期学習会の実施	27
2-3-7 少年団体の育成	27
2-3-8 子ども会活性化への支援	27
2-3-9 サブ・リーダー講習会の実施	28
2-3-10 ネットトラブル対策	28
2-3-11 セーフティ教室	28
2-3-12 デートDV予防啓発講座	28
2-3-13 交通安全指導	28
2-3-14 スクールサポーター制度	29
2-3-15 緊急通報装置等の防犯設備	29
2-3-16 通学路防犯設備整備事業	29
2-3-17 学校ICT化推進事業	29
2-3-18 防犯ブザーの配布	29
2-3-19 地域防犯対策	29

2-3-20 安全・安心メール	30
2-3-21 有害環境の浄化活動	30
2-3-22 薬物乱用防止活動	30
2-3-23 すみだまつり・こどもまつりでのPR活動	30
2-3-24 交通安全運動	31
2-3-25 健康づくりのための環境整備	31
2-3-26 ボール遊びができる公園等の整備	31
2-3-27 総合運動場等整備事業	31
■基本方針3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援	32
■方向性(1) いじめ・不登校対策	32
3-1-1 いじめ防止対策の推進	32
3-1-2 教育相談事業	32
3-1-3 スクールサポートセンター事業	32
3-1-4 スクールカウンセラーの配置	32
3-1-5 ステップ学級運営事業	33
3-1-6 不登校防止対策の推進	33
■基本方針3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援	34
■方向性(2) 障害のある子ども・若者への支援	34
3-2-1 乳幼児への療育	34
3-2-2 幼稚園・保育所等における障害児教育・保育等	34
3-2-3 学齢児への療育	34
3-2-4 就学相談	34
3-2-5 特別支援学級・教室の運営	35
3-2-6 特別支援教育の推進	35
3-2-7 すみだ教室の実施	36
3-2-8 就労継続支援事業	36

3-2-9 すみだ障害者就労支援総合センター	36
3-2-10 墨田区福祉作業所ネットワークK A I	36
■基本方針3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援	37
■方向性(3) 若者無業者(ニート)・ひきこもり対策	37
3-3-1 思春期相談・思春期講演会	37
3-3-2 若者の居場所づくり支援	37
3-3-3 若者や子育て世代等の女性などに対する就労支援	37
3-3-4 ヤング相談コーナー等における他機関への紹介	37
■基本方針3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援	38
■方向性(4) 非行・犯罪への対策と子ども・若者への支援	38
3-4-1 地域教育懇談会	38
3-4-2 地域パトロール	38
3-4-3 墨田区青少年健全育成区民大会	38
3-4-4 墨田区青少年非行・被害防止強調月間	38
3-4-5 ふれあい協議会	38
3-4-6 サイバーパトロールの実施	39
3-4-7 更生保護活動	39
3-4-8 社会を明るくする運動	39
■基本方針3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援	40
■方向性(5) 特に配慮が必要な子ども・若者への支援(ひとり親・生活困窮家庭、自殺対策、外国人、性同一性障害等)	40
3-5-1 母子生活支援施設	40
3-5-2 母子緊急一時保護事業	40
3-5-3 ひとり親家庭自立支援給付金事業	40
3-5-4 子どもの学習・生活支援事業	40
3-5-5 外国人等児童・生徒のための日本語指導及び学習支援	40
3-5-6 区民相談	41

3-5-7 子ども・若者への見守り支援	41
3-5-8 ゲートキーパー研修	41
3-5-9 すみだ こころと生活の相談窓口	41
3-5-10 小中学生向け啓発物の配布	41
3-5-11 性的マイノリティの人の人権等様々な人権問題に関する啓発	42
3-5-12 児童虐待に関する相談	42
3-5-13 児童相談	42

「墨田区子ども・若者計画」概要

1 計画期間

令和元～6年度

※令和5年度に5年間の計画期間最終年を迎えたが、こども家庭庁発足（令和5年4月）に伴うこども基本法第10条第5項に基づく市町村こども計画への一体化を視野に入れ、計画期間を一年間延長した。

2 計画の位置付け

子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく「市町村子ども・若者計画」である。

区ではこれまでに、「墨田区基本構想」、「墨田区基本計画」及び「墨田区教育施策大綱」の理念に基づく子ども・若者分野の施策を含む計画として、「墨田区子ども・子育て支援事業計画」、「墨田区子どもの未来応援取組方針」「すみだ教育指針（墨田区教育振興基本計画）」、「墨田区青少年対策基本方針」等を策定しているが、本計画は、これらとの整合を図りながら、子ども・若者の育成支援を総合的に推進するものである。

なお、新たな課題や環境の変化、国の動向等に対応できるよう、柔軟性をもって計画を推進する。

3 事業数及び評価

総合評価（事業評価）

事業数 \ 評価	AA	A	B	C	D	E	その他
掲載事業数 156	0	154	0	0	0	0	2

AA：目標よりも大きな成果を挙げることができた

A：目標を達成できた（達成度90～100%）

B：目標をほぼ達成できた（達成度70～89%）

C：目標を半ば達成できた（達成度50～69%）

D：目標を十分に達成できなかった（達成度20～49%）

E：目標をほとんど達成できなかった（達成度0～19%）

その他：計画の見直し等により評価が困難な場合

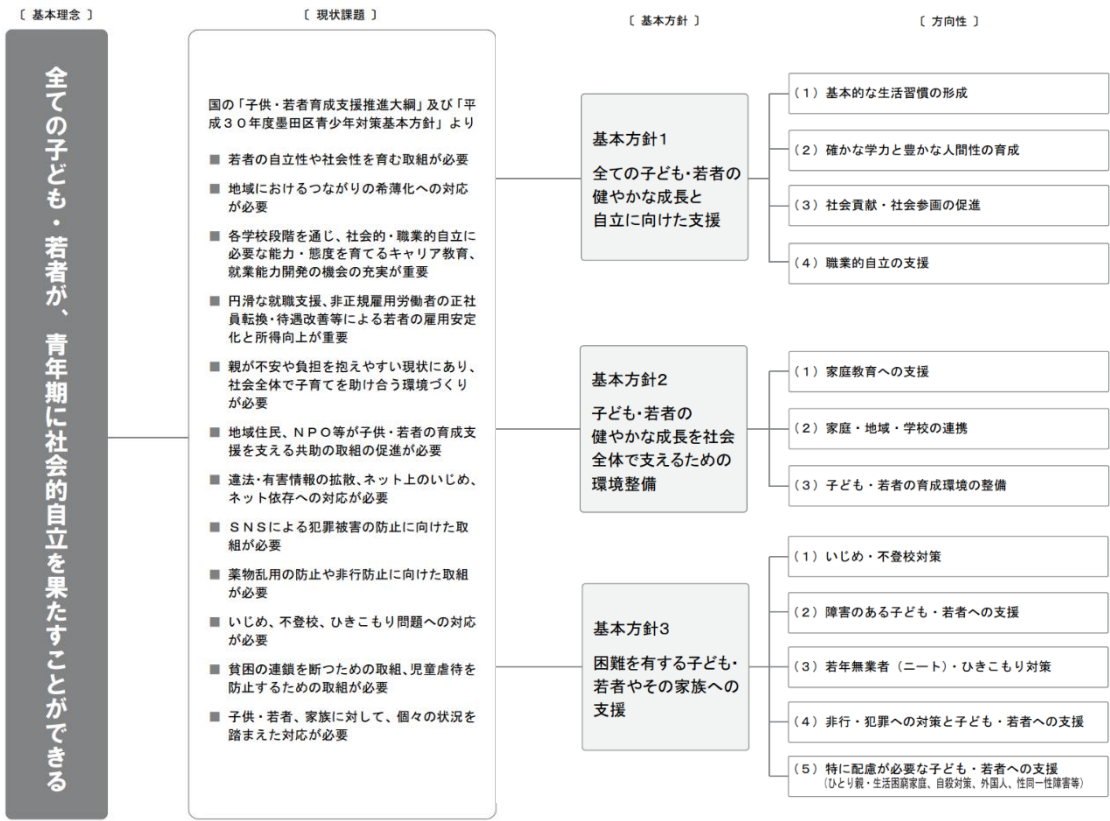
4 計画に対する考え方

「子供・若者育成支援推進大綱」及び「東京都子供・若者計画」を踏まえ、全ての子ども・若者が、青年期に社会的自立を果たすことができるよう、その成長を社会全体で応援することを計画の理念として設定する。

また、子ども・若者の「社会的自立」を目的としていることから、「墨田区子ども・子育て支援事業計画」等との整合を図り、子育て支援の施設整備計画等を除いて、若者の自立支援に重点を置いた事業を推進する。

なお、「社会的自立」については、多様な解釈が可能であるが、本計画では、「子供・若者育成支援推進大綱」の理念等を踏まえ、社会的自立を果たした青年の姿を、社会との関わりの中で自立した個人としての自己を確立し、社会に適応するのみならず、自らの力で未来の地域社会をよりよいものに変えていく力を身に付けた青年と位置付ける。

5 計画の体系



6 各事業の掲載

基本方針とその方向性の下に体系化された事業を以下に掲載する。

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（１） 基本的な生活習慣の形成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-1-1 幼児教育の推進 【指導室】 【子ども施設課】 【私立幼稚園】	幼児期の教育は、生涯にわたる人間形成の基礎を培う重要なものです。幼稚園・保育園において、教員・保育士等は、幼児が安定した情緒の下で主体的に活動できるよう環境を整え、基本的な生活習慣や集団生活のルール、健全な心身の発達の基礎等について身に付けるようにします。	【指導室】 幼児が主体的に遊びや生活を進めていくことができるための環境の工夫や教材の提供を積極的に行い、幼児一人ひとりの姿を丁寧に看取りながら援助の工夫の充実を図りました。 【子ども施設課】 家庭や地域と連携を図りながら、園児の保護者に対する支援等を行い、保育所保育指針「健康」「環境」「人間関係」「言葉」「表現（音楽・体育・絵画・造形）」に基づいて各年齢に合わせた活動と子どもの興味関心を育む保育を行いました。 【私立幼稚園】 各園が独自の教育理念のもと、特色のある教育・保育を行いました。	A
1-1-2 幼稚園、保育所等、小・中学校での食育の推進 【指導室】 【学務課】 【子ども施設課】	食料の生産から消費に至るまでの食に関する様々な体験等を通じて、食に関する理解を深めることで幼児・児童・生徒の健康維持、増進につなげます。	【指導室】 野菜等の栽培を通じて育てる楽しみ、収穫の楽しみ、食す楽しみを体験することができました。また、園行事の際に親子で料理をするなど、食に関する多角的な取組を図りました。 【学務課】 親子料理教室：2 回実施 食育学習見学会：1 回実施 【子ども施設課】 保育の中で、野菜等の栽培や調理保育等の食育活動に取り組みました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（１） 基本的な生活習慣の形成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-1-3 学校教育における生活習慣にか かわる指導 【指導室】	小学校入学段階のスタートカリキュラムによる指導を始めとして、各教科の学習や学級活動、保健指導、遠足・宿泊などの学校行事等を通じて、集団生活のルールや健康の保持促進、学校内外での安全について指導を行い、望ましい生活習慣を形成します。	<p>■全小・中学校に校則の見直しを依頼し、児童・生徒の実態に合った校則にするように努めました。</p> <p>■全幼・小・中学校に体力向上プランの提出を求め、体力向上に努めました。</p> <p>■毎月安全指導日並びに避難訓練を行い、児童・生徒に対して安全指導を行いました。</p>	A
1-1-4 食育推進事業 【健康推進課】 【すみだ食育 good ネット】	「墨田区食育推進計画」に基づき、「手間かけて みんなでつくる すみだの食育」を基本理念に、基本目標『食で「ひと」「まち」「交流」「安心」「協働」を育む』に準じた食育推進事業を区民・地域団体・NPO・事業者・企業・大学など多様な分野と区が連携しながら、すみだ食育推進会議の中で「協創」の食育へと推進します。	<p>【健康推進課】</p> <p>■すみだ食育フェス 2024 参加者数：2,142 人</p> <p>■すみだ食育推進会議：2 回</p> <p>【すみだ食育 good ネット】</p> <p>■特別区全国連携プロジェクト関連事業 （「野菜を育ててみよう!」、「牧場オンラインツアー」等）</p> <p>■すみだ街かど食堂：月 1 回（計 12 回）</p>	A
1-1-5 健康づくりのための普及啓発 【健康推進課】	「すみだ健康づくり総合計画」に基づき、区民一人ひとりが生涯を通じて、健康保持増進に取り組めるよう、健康づくりに対する意識の高揚や知識の普及を図ります。	<p>すみだ花体操</p> <p>・実施回数：585 回</p> <p>・参加人数：9,689 人</p>	A
1-1-6 健康診査 【健康推進課】	16 歳から 39 歳までの区民を対象として、健康の増進と維持を目的とした健康管理に役立てるため、若年区民健康診査を実施します。	<p>R1～R4：保健センターで実施（集団健診）</p> <p>R5～：実施医療機関（個別健診）</p> <p>・7 月～11 月の期間で実施</p> <p>・ホームページ上に受診後のフォローアップを掲載</p>	A
1-1-7 栄養指導 【健康推進課】	将来の健康について考え、自ら適切な食生活を実践できるよう、栄養相談や食生活講習会等を実施し、栄養に関する正しい知識の普及啓発を図ります。	<p>母子事業における栄養指導・相談：270 回</p> <p>上記以外の栄養相談：随時（71 件）</p> <p>食生活講習会：3 回</p> <p>親子料理教室：1 回</p>	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（１） 基本的な生活習慣の形成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-1-8 エイズ及び性感染症等に関する 普及啓発 【保健予防課】	エイズ及び性感染症に対する正しい理解を深めるため、ポスターやパンフレットの配布等、普及・啓発を図ります。	区内中学校・高等学校の生徒を対象とした講演会を実施し、エイズ及び性感染症に対する正しい理解を広め、感染を予防するための教育を推進しました。 また、区内施設等でポスターやパンフレット、関連書籍の展示を行い、エイズ及び性感染症に関する知識の普及・啓発活動を行いました。	A
1-1-9 たばこの害についての普及啓発 【健康推進課】	たばこの健康被害や受動喫煙による影響を理解し、喫煙行動を防止するため、小学校高学年向けに、啓発リーフレットを配布し、意識啓発を図ります。	小学校にたばこの害についてのリーフレットを配布し、未成年者への喫煙防止対策の推進や受動喫煙に関するリーフレットも配布しました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（２） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和６年度)	総合評価 (令和元～６年度)
1-2-1 幼保小中一貫教育の推進 【すみだ教育研究所】	「墨田区幼保小中一貫教育推進計画」に基づき、幼稚園・保育園等から小学校への就学時及び小学校から中学校への進学時の円滑な接続を図るとともに、幼児期から義務教育終了までの11年間を通した連続性のある教育を推進します。また、交流や意見交換を通して、異校種間等の円滑な連携を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ■協議会：全10ブロック各3回 ■墨田区幼保小中一貫教育フォーラム：1回 （各ブロック取組発表及び特別講演「学びの連続性を踏まえた教育の充実～学校段階等間の円滑な接続に向けて」） 	A
1-2-2 学力向上「新すみだプラン」の推進 【すみだ教育研究所】	児童・生徒の学力向上を図るため、「学校の教育力の向上」「家庭の教育力の向上」「地域の教育力の向上」の3つを柱に、学力向上に関する施策を展開します。	<ul style="list-style-type: none"> ■マネジメント推進校：5校 ■学習意欲に関する共同研究校：1校 ■学力向上推進会議実施：1回 ■すみだスクールサポートティーチャー活動者：187名 	A
1-2-3 教職員研修事業 【指導室】	今日的な教育課題への対応、各職層において習得すべき内容、授業指導法などについて研修を行い、教員の指導力向上を図り、子どもたちの学力向上につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> ■各教科・領域研修 ■校長・副校長研修 ■教務主任研修 ■中堅教諭等資質向上研修 等 	A
1-2-4 学校支援指導員派遣事業 【指導室】	全ての幼稚園・学校に学校支援指導員を配置して、学習指導、生活指導、特別支援等の補助を行い、幼児・児童・生徒が安心して安定した学校生活を送ることができるようにすることで、確かな学力につなげます。	<ul style="list-style-type: none"> ■全幼稚園・全小中学校に学校支援指導員を配置しました。 	A
1-2-5 研究協力校（園）及び特色ある学校づくり推進校、グループ・個人奨励 【指導室】	教育委員会が示した内容や今日的な教育課題の解決を図るため、学校における研究実践や、特色ある教育活動等について推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ■研究協力校（園）1年次：1園4校 ■研究協力校（園）2年次：1園3校 ■特色ある学校づくり推進校：1園7校 ■個人研究：2名 ■グループ研究：1組 	A
1-2-6 人権教育 【指導室】	地域や学校の実態に即して、同和問題をはじめとする様々な人権課題を理解し、自分の大切さとともに他の人の大切さを認めることができるようになり、様々な場面での具体的な態度や行動に移していくことのできる人権教育を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ■東京都教育委員会人権尊重教育推進校：3校 ■人権教育視察（管理職対象） ■人権教育推進連絡協議会：3回 ■初任者研修、中堅教諭等資質向上研修：各1回 	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（２） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-2-7 道徳教育の推進 【指導室】	特別の教科道徳を核とした全ての教育活動を通じて、道徳教育を推進し、人間としての生き方の自覚を促すことで、豊かな心もち道徳性を身に付けた児童・生徒を育成します。	道徳教育推進教師を中心に、学校の道徳授業の充実と、道徳授業地区公開講座を全小中学校で実施し、道徳性の育成を行いました。	A
1-2-8 ＳＯＳの出し方に関する教育 【指導室】 【保健予防課】	「困難やストレスに直面した児童・生徒が信頼できる大人に助けの声を上げられる」ことを目標として、小学校5年生から中学校3年生までを対象に、「ＳＯＳの出し方に関する教育」を学校の教育活動として位置付けて実施します。また、授業教材の作成や授業の実施にあたっては、健康推進課の保健師等も参画します。	【指導室】 区内小学校 25 校、区内中学校 10 校で実施しました。 【保健予防課】 指導室からの依頼で、区内中学校 9 か所で実施しました。	A
1-2-9 若年層に向けた男女共同参画意識の醸成 【すみだ人権同和・男女共同参画事務所】	性別を理由として役割を決めつけたり、性別のイメージを固定的に考えて自分自身や他者の生き方を制約することがないよう、中学生以上を対象とした若者向けの啓発冊子を発行し、男女共同参画意識の醸成を図ります。	区立中学校（10 校）へ 3 年生の卒業式前に、啓発冊子・男女共同参画のためのチェックシート・デートＤＶってなんだろう？（カード）の配布を依頼しました。	A
1-2-10 情報教育の推進 【指導室】	児童・生徒が主体的に情報を選択・活用する能力を育てるため、コンピュータを活用した教育やＳＮＳの適正な利用等を推進します。	■すみだＧＩＧＡスクール授業改善研究員による一人 1 台端末を活用した授業に関する研究を実施しました。 ■情報モラル教育モデルカリキュラムやＧＩＧＡワークブックとうきょうを活用した年 3 回の指導を実施しました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（2） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
1-2-11 伝統文化等に触れ合う機会の提供 【指導室】 【地域教育支援課】	児童・生徒の郷土への理解や愛着心を育むため、すみだ北斎美術館やすみだ郷土文化資料館等と連携し、郷土の歴史や伝統文化を深める授業等を行います。	【指導室】 副読本「北斎学習読本」、「わたしたちのすみだ」、「ふるさとすみだ」の記載内容を授業で活用し、理解促進を図りました。 【地域教育支援課】 学校連携事業を実施し、展示見学10校、出張授業11校、道具等の貸出8校、延べ小学校29校の参加がありました。	A
1-2-12 体験的な活動を取り入れた学習 【学務課】 【指導室】	児童・生徒の社会性や豊かな情操を育むため、特別活動等におけるボランティア活動や自然体験活動のほか、移動教室や野外体験活動の充実を図ります。	【学務課】 小・中学校の野外体験活動事業、移動教室は各校様々な体験活動を取り入れながら実施しました。 【指導室】 都主催「笑顔と学びの体験活動プロジェクト」を小学校25校、中学校10校が実施しました。 パラリンピアン等を招聘した体験活動を実施しました。	A
1-2-13 夏休み自然体験教室（農山村生活体験事業） 【地域教育支援課】	自然体験や異学年交流を通じて、子ども達の豊かな感性や情緒を育むため、児童・生徒を対象に、農山村等における生活体験や集団生活を体験する自然体験教室を行います。	日程：令和6年8月3日（土）～5日（月） 参加人数：19名（定員20名）	A
1-2-14 自然環境学習 【環境保全課】	野鳥、昆虫、樹木などの観察を通して、人と自然とのつながりを見る目を養い、持続可能な環境づくりを考えるきっかけとします。また、学校のビオトープを利用し、生き物と触れ合い、自然環境の大切さを学びます。	■すみだ自然観察会（小学生以下とその保護者対象）：6回実施 延べ105名参加 ■大人のためのすみだ自然観察会（中学生以上対象）：4回実施 延べ73名参加 ■学校のビオトープ現況調査を実施しました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（２） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-2-15 子ども読書活動の推進 【ひきふね図書館】 【指導室】	<p>○学校図書館の充実</p> <p>①区内全小・中学校が参加する「図書館を使った調べる学習コンクール」を実施し、子どもが主体的に学ぶことを支援します。</p> <p>②授業等での学校図書館の活用を図るとともに、展示の工夫やイベントの開催を通して、児童・生徒の読書活動を推進します。</p> <p>③小中学校に学校司書要員を配置し、学校図書館の活用推進を図ります。</p> <p>○学校と図書館の連携強化</p> <p>①「図書館を使った調べる学習コンクール」の個別相談会を図書館で実施し、子どもの研究活動を支援します。</p> <p>②小中学校へ図書の団体貸出を行い、児童・生徒がより多くの本に接する機会を増やします。</p> <p>③読み聞かせボランティア講座を図書館で開催し、学校での読み聞かせを行うボランティアの活動を支援します。</p> <p>④図書館見学や職場体験学習、ブックリストの配布を通じて、児童・生徒の読書への関心を高めます。</p> <p>⑤学校図書館担当者の専門性を高めるために、司書教諭研修を図書館にて実施します。また、小中学校の学校司書と図書館司書の情報交換会を行い、情報共有に努めます。</p> <p>○地域での読書活動の推進</p> <p>幼稚園・保育園等の施設への団体貸出を行うとともに、図書館ボランティアの協力を得て、学校や障害児施設での出張読み聞かせ会等を行い、地域での読書活動を推進します。</p> <p>○区立図書館での児童・生徒向けサービスの充実</p> <p>①おはなし会やイベントを通じて、幼児・児童・生徒の読書への関心を高めます。</p> <p>②青少年向けにティーンズコーナーを設け、青少年が読書に親しみ、豊かな教養を身に付けることができるよう支援します。</p>	<p>【ひきふね図書館】</p> <p>○学校図書館の充実</p> <p>②区立小・中学校全校で学校図書館を利用し、季節に合わせた展示等を行いました。</p> <p>③小学校へは業務委託にて学校司書を、中学校へは図書館から司書を派遣し、オリエンテーションなどの支援を行いました。</p> <p>○学校と図書館の連携強化</p> <p>①個別相談会は区内図書館 3 館で実施し、図書館から支援員を配置しました。</p> <p>②団体貸出冊数：小学校 30,799 冊、中学校 3,048 冊</p> <p>③読み聞かせボランティア講座：7 回、受講人数 66 名</p> <p>④希望があった小中学校に対し、図書館見学・職場体験学習を行いました。また、春に 1 回、夏に 1 回小学生へブックリストを配布しました。</p> <p>⑤司書教諭研修を実施し、各校の蔵書状況や団体貸出等図書館サービスの利用方法などを説明しました。</p> <p>○地域での読書活動の推進</p> <p>・幼稚園・保育園への団体貸出冊数 幼稚園：2,297 冊、保育園：11,024 冊</p> <p>・障害児施設での出張読み聞かせ回数：4 回</p> <p>・特別支援学級での読み聞かせ回数：11 回</p> <p>○区立図書館での児童・生徒向けサービスの充実</p> <p>①おはなし会（4 館合計）349 回 3,964 人 おたのしみ会（4 館合計）10 回 453 人 工作会（4 館合計）18 回 359 人 その他企画（4 館合計）19 回 946 人</p> <p>②特集展示（月 1 回変更）、情報誌「10 代のための本棚」（年間 4 回）を発行し、情報提供に努めました。</p> <p>【指導室】</p> <p>○学校図書館の充実</p> <p>①区内小・中学校の教職員対象に、学校図書館担当教員研修会を年 3 回・調べる学習研修会を年 1 回実施しました。</p> <p>○学校と図書館の連携強化</p> <p>②図書館を使った調べる学習コンクールに向けて、4 月に「調べる学習親子応援講座」を実施しました。</p> <p>7 月・8 月に区内図書館で「調べる学習個別相談会」を実施しました。</p>	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（２） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-2-16 健康と体力向上の推進 【指導室】	体位、体力の向上を図るため、指導資料を作成し、区立小・中学校の児童・生徒の心身の健康増進を図るとともに、体育優良生徒を表彰し、スポーツ奨励を図ります。	■体育優良生徒 各中学校で男子 10 名、女子 10 名を表彰しました。	A
1-2-17 スポーツ振興事業 【スポーツ振興課】	スポーツ教室、区民スポーツ大会、障害者（児）スポーツ・レクリエーション大会などを開催し、スポーツの振興を図るとともに、広く区民の健康増進を支援します。	【スポーツ教室】 ■高齢者健康体操教室 ・区内 2 会場、通年各 40 回 ・延べ参加人数：15,729 人 ■ちょっと楽しいスポーツ教室 ・区内 2 会場、通年各 15 回 ・延べ参加人数：502 人 ■ボート教室 ・平井橋艇庫及び平井橋船着き場付近において、2 日間で全 4 回実施しました。 ・延べ参加人数：23 人 【区民スポーツ大会】 ■区民スポーツ大会（29 種目実施） ・延べ参加人数：8,619 人 【障害者（児）スポーツ・レクリエーション大会】 ・延べ参加人数：328 人	A
1-2-18 区民健康スポーツデー 【スポーツ振興課】	原則として10月のスポーツの日を区民健康スポーツデーと位置付け、全ての区民が一日スポーツに親しむ日とすることで、スポーツの振興を図ります。	来場者数：1,300 人	A
1-2-19 総合型地域スポーツクラブ自立支援 【スポーツ振興課】	地域の日常的な活動の場として、誰もが参加できる気軽にスポーツやレクリエーションを楽しむことができる地域スポーツクラブを展開し、豊かな地域スポーツライフを築きます。	スポーツ教室等（ちょっと楽しいスポーツ教室、スポーツ施設開放、高齢者健康体操教室）の管理運営の委託及び自主事業の共催をしました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（2） 確かな学力と豊かな人間性の育成

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
1-2-20 スポーツ推進委員の活動 【スポーツ振興課】	スポーツ教室等の企画運営に参画し、区民にスポーツの指導・助言を行いスポーツの振興を図ることで、広く区民の健康増進を支援します。	<ul style="list-style-type: none"> ■スポーツ推進委員協議会定例会開催（毎月） ■区民向けスポーツ教室の実施 ちよっと楽しいスポーツ教室、ポッチャ体験会ほか ■区内スポーツ事業従事・派遣 ポッチャ指導員派遣、区民スポーツ大会派遣ほか ■スポーツ体験イベント等自主事業 ポッチャ大会、キンボール体験会、ファミリーキャンプほか 	A
1-2-21 各種スポーツ活動 【本所・向島警察署】	子ども達の心身を鍛えるとともに、健康増進を図るため、柔・剣道教室などを実施します。	<p>【本所警察署】</p> <p>本所警察署管内の小学生を中心に、警察署の道場を利用して柔道・剣道を指導し、心身の錬磨と健康増進を図りました。</p> <p>【向島警察署】</p> <p>向島警察署の道場において、管内の小中学生を対象に柔・剣道を指導し、気力・体力の向上と礼式を身につけることにより、心身の充実を図りました。</p>	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（３） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-3-1 地域力育成・支援事業 【地域活動推進課】	地域で活動している方や地域活動に関心がある方を対象に、リーダースキルやコーディネータースキル等の提供、活動者の交流会等を行い、自主的かつ組織的に活動できる人材を育成します。	地域活動のためのステップアップセミナーを 1 回実施し、団体運営のコツを学ぶ機会を提供したほか、参加者同士の交流を行いました。 (参加者 10 名)	A
1-3-2 すみだ生涯学習センター事業 【地域活動推進課】 【すみだ生涯学習センター】	区民がさまざまな生涯学習活動を行うための拠点施設として、生涯学習の機会や場の提供、学習情報の発信、学習相談を実施するなど、区民の生涯学習を支援します。	貸室利用者数：134,574 人 学習相談コーナー利用者数：7,535 人 稼働率：55.9%	A
1-3-3 図書館における青少年活動の推進 【ひきふね図書館】	中高生のボランティアグループ「ひきふね図書館おもてなし課」の活動を通して、中学生・高校生が自主的にイベントや特集展示コーナーの企画や運営を行うことで、地域貢献の意識醸成を図ります。	【令和 6 年度実績】 実施なし（別事業（子ども司書）を立ち上げ、そちらへ移行します。）	その他 新型コロナウイルス感染症の影響による活動休止以降、再開ができなかったため。
1-3-4 クリーンキャンペーン 【すみだ清掃事務所】	ごみゼロデー（5 月 30 日）にちなみ、道路や公園等の散乱ごみの清掃を内容とするキャンペーンを地域住民が主体的に進める活動として実施することで、美観の向上を図るとともに、地域力の強化を目指します。	基本実施日を令和 6 年 5 月 19 日（日）とし、5 月上旬～6 月上旬の間で、266 団体・延べ 12,223 人の参加申込みがありました。 なお、基本実施日と翌週日曜日の 2 日間で、ごみ収集量は 6,960 k g（一般廃棄物及び産業廃棄物）、粗大ごみ及び処理困難物は、16 品目 97 個の排出がありました。	A
1-3-5 ボランティア推進事業 【墨田区社会福祉協議会】 【地域福祉課】	ボランティア活動に対する理解と参加を促進するため、講習会や講座の開催、P R 活動等を行い、ボランティアの育成・活動支援を図り、福祉のまちづくりを推進します。	ボランティア養成のための講習会・講座を実施しました。 ・手話講習会 6 クラス：初級朝 40 回・夜 40 回、中級朝 40 回・夜 40 回、上級朝 40 回・夜 40 回 ・点訳講習会 2 クラス：昼 19 回・夜 20 回 ・音訳講習会 1 クラス：21 回 ・要約筆記講習会 1 クラス：10 回 ・傾聴ボランティア講習会 1 クラス：6 回 ・ボランティア入門講座：2 回	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（３） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和６年度)	総合評価 (令和元～６年度)
1-3-6 ボランティアセンターの活動 【墨田区社会福祉協議会】 【地域福祉課】	ボランティア活動を推進するため、ボランティアの育成と活動の中心となる場を設け、ボランティア意識の啓発と活動への参加を促進します。	すみだボランティアセンター施設利用件数：1,896 件 すみだボランティアセンター分館施設利用件数：306 件	A
1-3-7 夏体験ボランティア事業 【墨田区社会福祉協議会（地域福祉課）】	ボランティア活動の体験を通して、様々な社会的問題への関心を深めるとともに、積極的に社会づくりに参加する意識の醸成を図ります。	小学生からシニアまでを対象に、区内福祉施設、ボランティア団体のボランティア活動を体験する事業を実施しました。 参加者：218 人	A
1-3-8 学校のボランティア活動普及事業 【墨田区社会福祉協議会（地域福祉課）】	中学校・高等学校等を「ボランティア協力校」として指定し、生徒の社会福祉への理解と関心を高め、人間同士の連携の精神を養うとともに、生徒を通じて家庭及び地域社会の意識啓発を図ります。	令和６年度指定校 吾嬬第二中学校・立志舎高等学校	A
1-3-9 児童・生徒向けボランティアスクール 【墨田区社会福祉協議会（地域福祉課）】	小・中・高校生を対象にボランティア活動の学習と体験をすることで、社会参画意識の醸成を図ります。	手話・点訳・ガイドヘルプ体験を実施 小学生ボランティアスクール：８校９回 中学生ボランティアスクール：２校５回	A
1-3-10 生産体験活動 【本所・向島警察署】	小・中・高校生を対象にボランティア活動の学習と体験をすることで、社会参画意識の醸成を図ります。	【本所警察署】 社会奉仕の心を育むため、管内の小学生を中心に錦糸町のプロジェクトに参加する有志の大人や本所母の会と共に街の清掃活動を実施しました。 【向島警察署】 管内の子どもたちを中心に職場体験や施設見学を実施し、社会奉仕や参画の意欲向上に努めました。	A
1-3-11 自主グループ等への支援 【子育て政策課】	児童館で読み聞かせ等を行う自主グループに活動場所の提供を行い、ボランティアの育成を図ります。	各児童館の指定管理者において、中高生や地域等のボランティアを活用し、各種児童館事業を展開しました。これにより、ボランティア活動の場・機会を提供し、ボランティア人材の育成に寄与しました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（３） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和６年度)	総合評価 (令和元～６年度)
1-3-12 音楽活動 【子育て政策課】	中高生を中心とした音楽グループに児童館の音楽室を開放し、それらのグループが、コンサートを開催するなど音楽活動を通じて、健全育成を図ります。	音楽室・スタジオがある墨田児童会館外４館で中高生をメインに吹奏楽やバンド活動の練習等に音楽室・スタジオを開放しました。	A
1-3-13 墨田区のお知らせ等による周知 【広報広聴担当】	青少年向けの区の各部署が実施する行事などを、墨田区のお知らせ「すみだ」や区政情報番組「ウィークリーすみだ」等を通じて、区民へ周知・ＰＲします。	【区報】地域教育支援課が所管する記事を 20 件掲載するなど、青少年向けの行事等の情報を掲載しました。 【ＣＡＴＶ】地域教育支援課が所管する事業の告知を 4 本、番組を 2 本制作するなど、青少年向けの行事等の情報を放送しました。	A
1-3-14 国際理解教育の推進事業 【指導室】	各教科等の学習を通じた国際理解教育を推進するとともに、外国人講師（ＮＴ）の導入やＴＯＫＹＯ ＧＬＯＢＡＬ ＧＡＴＥＷＡＹ（東京都版英語村）の利用により、英語学習や外国の文化等への関心を高め、英語を用いてコミュニケーションを図る態度を育てます。	■ＴＧＧ参加生徒数：1,249 人 ■全小・中学校（夜間含む）にＮＴを導入しました。（小学校 1,807 日、中学校 829、夜間学級 20 日）	A
1-3-15 墨田区中学生海外派遣事業 【指導室】	中学校 2 年生を対象とした海外派遣を実施し、現地の生徒との交流やホームステイ等によって、英語力の向上を図り、国際社会で幅広い視野を持って活躍することのできる人材を育てます。	■中学校（各校、男女各 1 名）の海外派遣を実施しました。 ・オーストラリア・シドニー ・令和 6 年 7 月 29 日～令和 6 年 8 月 7 日 ・海外派遣事前事後研修 10 日 ※令和 6 年度から国際理解教育の推進事業（1-3-14）に統合しています。	A
1-3-16 オリンピック・パラリンピック教育推進事業 【指導室】	東京 2020 大会の経験を通じ、掛け替えのないレガシーを幼児・児童・生徒一人ひとりの心に残します。また、幼児・児童・生徒がオリンピック・パラリンピックの歴史・意義を正しく理解することで、多様性を尊重し、共生社会の実現や国際社会の平和と発展に貢献できる人材に育つことを目指します。	■「学校 2020 レガシー」として設定し、各学校で取り組みました。	A
1-3-17 総合防災教育 【本所・向島消防署】	自らの防災行動力を高めるとともに、将来における地域防災の担い手を育成するため、幼児期から発達の段階に応じた防火防災教育を総合防災教育と位置付け、継続的に実施します。	【本所消防署】 それぞれの年齢層に応じた防火防災教育を継続的に実施し、個々の防災行動力を高めることができました。 【向島消防署】 区立小中学校及び都立高等学校等において、防災訓練及び防災講話を実施し、防災行動力の向上を図りました。 また、墨田区オリジナルで作成した防災デジタル教材を活用し、総合防災教育の充実を図りました。	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（3） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
1-3-18 消防少年団 【本所・向島消防署】	将来の地域防災の担い手を育成するため、小学校1年生から高校3年生までを対象として、各消防署単位で、防火防災に関する知識及び技術を身に付ける活動を実施します。	<p>【本所消防署】</p> <p>本所消防少年団では、小学校1年生から高校3年生まで幅広い年齢層の団員が在籍しており、様々な年代の団員と関わり合いを持ちながら、防火防災に関する知識や技術の習得を目指して活動を実施しました。</p> <p>【向島消防署】</p> <p>消防署における基本訓練だけでなく、地域の行事等にも積極的に参加し、「勝海舟フォーラム」や「令和6年度すみだまつり・こどもまつり」など、社会奉仕活動や地域に密着した活動を通して、防火防災意識や規律・道徳心を学び、社会の担い手として育つよう活動しました。</p> <p>また、9月に兵庫県神戸市で行われた「令和6年度全国少年消防クラブ交流大会」には、何度も訓練を重ねて臨み、防火防災に関する知識及び技術を高めるとともに、他本部の団員との交流を深める貴重な機会となりました。</p>	A
1-3-19 学校防災活動の推進 【指導室】 【防災課】	<p>【指導室】</p> <p>区民と地域の防災力向上を図る一環として、普通救命講習を実施し、将来の地域の担い手である中学生に対する防災教育を推進します。</p> <p>【防災課】</p> <p>「墨田区地震ガイドブック」を作成・配布し、災害時に中学生が自らの安全を守るとともに、地域の一員として応急活動に取り組むことができるよう支援します。また、中学生で組織される自主防災組織の活動に必要な資材・機材の交付をします。</p>	<p>【指導室】</p> <p>普通救命講習を実施しました。（中学1年生対象）10校</p> <p>【防災課】</p> <p>防災知識の普及及び防災行動力の向上強化を目指し、「墨田区地震ガイドブック」を新中学1年生に配布しました。また、自主防災組織を結成している4校に4万円分の防災資器材を交付しました。その他、1校に対し上級救命講習のテキスト代助成を行いました。</p>	A
1-3-20 起震車による地震体験 【防災課】	各学校や町会等で行われる防災訓練、墨田区主催のイベント等で、起震車「すみだぐらぐら号」による地震体験を行い、青少年の防災意識の高揚と防災行動力の向上を図ります。	<p>青少年の防災意識の高揚と防災行動力の向上を図るため、区内各地の防災訓練やイベントに起震車を運行し、地震体験を行いました。</p> <p>令和6年度は計44回運行し、体験人数は2,736人となりました。</p>	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（３） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-3-21 中学生区議会 【広報広聴担当】	区内各中学校の代表生徒を対象に、本会議・委員会形式の模擬区議会の体験を通じて、すみだの未来を担う子どもたちの郷土に対する愛着心等の向上を図ります。	中学生議員が質問者となり、本会議・委員会に準じ、質問や答弁を行いました。 参加者：区立中学生 20 名、区長、副区長、教育長、各部長、区議会議員ほか	A
1-3-22 すみだ少年少女合唱団 【文化芸術振興課】	区の音楽文化推進の一環として、小学校 3 年生から高校 3 年生を対象とした合唱団を結成し、歌う楽しさを通して豊かな情操を養います。また、地域のイベント等に出演し、地域への愛着・理解を深めるとともに社会性の向上を図り、音楽都市すみだの文化的まちづくりに寄与する人材を育てます。	練習日：全 50 回 団員数：65 名 演奏会：第 39 回定期演奏会 外部出演：すみだオペラ、区合唱祭、すみだ音楽祭、東京スカイツリータウン、東武ホテルレバント東京ほか、計 10 回	A
1-3-23 すみだまつり・こどもまつり 【文化芸術振興課】	区民等によって組織した実行委員会が企画・運営することで、「ふるさと墨田」のまちづくり意識の高揚と地域力の振興を図ります。また、安全・健康・友情と連帯の輪を目標に明るくはつらつとした子どもの成長を促します。実施にあたって広くボランティアを募集することで、区民等の社会参画を促します。	開催日：令和 6 年 10 月 5 日(土)、6 日(日) 来場者数：約 27 万人 実施内容：模擬店、物産展、こどもパレード、P R コーナー、こどもあそびコーナー、ステージ（キャラクターショー、下町寄席、芸能大会ほか）ほか	A
1-3-24 はたちのつどい 【文化芸術振興課】	はたちを迎える方で構成する実行委員会が企画から当日までの運営を行うことにより、社会人としての自覚を促すとともに、参加者が喜びを共感できる式典を開催します。	実行委員 15 名が計 19 回の会議を重ね、テーマや式典内容を企画しました。当日は 1,253 人が式典に参加し、実行委員による司会や演出のもと、温かく素敵な時間となりました。	A
1-3-25 明るい選挙啓発ポスターコンクール 【選挙管理委員会事務局】	区内小中学校及び高等学校の児童・生徒を対象に、選挙啓発に関するポスターコンクールを実施し、選挙に対する関心を高めます。	【令和 6 年度ポスターコンクール応募状況】 小学校：9 校 108 作品 中学校：7 校 729 作品 高等学校：2 校 14 作品	A
1-3-26 若年投票立会人 【選挙管理委員会事務局】	各投票所に配置する投票立会人について、18～29 歳までの若年層を起用することで、若者の選挙に対する関心を高めます。	【令和 6 年 7 月 7 日執行東京都知事選挙実績】 期日前・不在者投票所：26 人 当日投票所：3 人 【令和 6 年 10 月 27 日執行衆議院議員選挙実績】 期日前・不在者投票所：23 人	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（3） 社会貢献・社会参画の促進

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
1-3-27 若年啓発グループ 【選挙管理委員会事務局】	18～29 歳までの若年層を対象にグループを結成し、若者の政治参加を促し、選挙に関する関心を高めるための啓発活動を行います。	【令和6年度実績】 開催なし	その他 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以降、参加者が集まらなくなり開催が困難になったため。

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（４） 職業的自立の支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和６年度)	総合評価 (令和元～６年度)
1-4-1 キャリア教育の推進 【指導室】	児童・生徒一人ひとりのキャリア発達を支援し、それぞれにふさわしいキャリアを形成していくために、授業等を通して必要な意欲・態度や能力を育てます。	区内小中学校の教職員を対象に、キャリア教育担当教員兼進路指導主任研修会を年２回実施しました。	A
1-4-2 子ども科学教室 【経営支援課】	区内在住在学の小学校４～６年生を対象に、芝浦工業大学と連携したロボット工作を通して、子どもたちのものづくりへの興味醸成を図ります。	子ども科学教室 令和元年度参加者数：39 名 (令和元年度完了)	A
1-4-3 ものづくりスタートアップ連携促進事業 【経営支援課】	区内の町工場等を学びのフィールドとして、区内外の教育ベンチャーと連携しながら、S T E A M教育の考え方を取り入れた次世代ものづくり人材の育成を行います。あわせて、情報経営イノベーション専門職大学や千葉大学と連携したりカレント教育も実施していきます。	<p>■プロジェクトスミダ 小学生を対象に、町工場における課題解決をテーマとしたワークショップを実施しました。</p> <p>■カードゲーム製品化事業 令和元年度実施に実施した事業での受賞作品の製品化を行い、区内児童館等に配布しました。</p> <p>■小学生スタートアッププロジェクト 町工場等経営者、大学生と協力し、企業にチャレンジするプロジェクトを実施しました。 (令和４年度完了)</p>	A
1-4-4 ものづくりフェア 【経営支援課】	ものづくりの魅力を伝えるため、イベントを通して、子どもたちが「ものづくり」に触れる機会を提供し、ものづくりの楽しさを伝えます。	ものづくりフェア 2024（令和６年９月 28 日実施） 来場者数：延べ 2,200 人	A
1-4-5 就職支援コーナーすみだ 【経営支援課】 【ハローワーク墨田】	ハローワークの求人情報検索システムを庁舎内に設置するなど、ハローワーク墨田、東京労働局、区の三者が連携することで、雇用・就労の促進を図ります。	就職支援コーナーすみだを運営し、就職相談、職業紹介等を実施しました。 相談件数：1,844 件	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（４） 職業的自立の支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-4-6 雇用・就労支援サイト「ジョブす みだ」の運営 【経営支援課】	求人情報や内職情報をインター ネットで検索・閲覧できるようにし、求職活動者がいつ でも手軽に求職情報を閲覧できる環境を整備することで、雇用・就労の促進を図りま す。	雇用・就労支援サイト「ジョブすみだ」を運営し、求職者に対して求 人情報や内職情報を提供しました。 アクセス件数：390,949 件	A
1-4-7 求職者支援訓練 【ハローワーク墨田】	雇用保険を受給できない求職者などを対象として、民間訓練機関が厚生労働大臣の 認定を受けた職業訓練を実施します。	求職者個人の考えを尊重しつつ、客観的にキャリアを見直し必要な 訓練のあっせんを行うことで、以下の実績につなげることができまし た。 修了者 170 名、うち就職 101 名（基礎・実践計）	A
1-4-8 職業訓練受講給付金 【ハローワーク墨田】	特定求職者が、ハローワークの支援指示を受けて求職者支援訓練や公共職業訓練を 受講し、一定の支給要件を満たす場合、「職業訓練受講給付金」（職業訓練受講 手当・通所手当・寄宿手当）を支給します。	適切な支給事務に努め、年度計 262 件の支給決定を行いました。	A
1-4-9 若年者の安定雇用の推進に繋 がる各種助成金（国） 【ハローワーク墨田】	トライアル雇用助成金、キャリアアップ助成金の正社員化コース等、若年者の安定雇用 の推進に繋がる各種助成金の活用について、区や事業主団体との連携を含め、管内 企業に対して周知・啓発を実施します。	各関係機関と連携したセミナーにおいて、周知・啓発を実施しまし た。 墨田年金事務所主催セミナー：1 回 向島労働基準監督署セミナー：12 回	A
1-4-10 合同就職面接会等の開催 【経営支援課】 【ハローワーク墨田】	ハローワーク墨田と連携し、ハローワーク墨田所管内である葛飾区とも協力のうえ、就職 面接会を開催するなど、区内等中小企業の雇用の安定と区民等求職者の就労支援 を行っています。また、区民等求職者（主に再就職希望者）を対象として、就職活動 支援セミナーを開催します。	「すみだ・かつしか就職面接会」（令和 4 年 7 月 28 日実施） ・参加事業所数：6 社 ・来場求職者数：11 社 ・面接者数：延べ 14 人 「かつしか・すみだ就職面接会」（令和 4 年 11 月 24 日実施） ・参加事業所数：7 社 ・来場求職者数：22 社 ・面接者数：延べ 17 人 ・採用者数：延べ 2 人 （令和 4 年度完了）	A

■基本方針 1 全ての子ども・若者の健やかな成長と自立に向けた支援

■方向性（４） 職業的自立の支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
1-4-11 すみだ人材確保プロモーション支 援事業 【経営支援課】	区内事業者に関心のある求職者を対象に、合同企業説明会を開催し、区内事業者 への就労促進を図ります。	合同企業説明会の実施（3 回実施） 参加者数：92 人	A
1-4-12 人材確保・就職支援コーナー 【ハローワーク墨田】	福祉分野（介護・看護・保育）／建設・警備・運輸等の仕事を希望する方や当該人 材を必要とする事業主の皆様をサポートします。実際に施設を見学するツアー型面接会 や体験会、業界セミナーを行います。	各種セミナー：実施 24 回、参加人数 1,108 名 相談・面接会：実施 77 回、参加人数 1,081 名、採用数 101 名 前年度より大幅に実施回数等上回ることができ、効果的な事業運 営ができました。	A
1-4-13 学卒求人申込説明会 【経営支援課】 【ハローワーク墨田】	新規学校卒業予定者を対象に求人申込みが見込まれる事業所に対し、求人申込み にあたっての事務手続等についての説明を行うとともに、適正な従業員採用計画の樹 立、求人秩序の維持、公正採用選考のルールの遵守及び就職差別の解消のため、実 施しています。	参加事業所数：165 社 参加人数：196 人	A
1-4-14 中高生の就職支援 【ハローワーク墨田】	中・高生等社会経験のない新卒者に対して、就職支援ナビゲーターによる就職意識の 形成、準備活動、個別相談等を実施し、管内の中学、高校等と密接な連携のもと安 定雇用である正社員就職に繋がる支援を実施します。	■就職支援ナビゲーターによる就職支援を実施しました。 ■各学校の進路担当者と会議を実施し連携強化を行いました。 ・中学校：1 回 ・高等学校：4 回	A
1-4-15 ヤング相談コーナー 【ハローワーク墨田】	34歳以下の若年求職者を対象とした職業相談窓口として、職業相談・職業紹介の 他、応募書類の添削や面接対策、キャリアインサイトを使用した適性診断等、個別予 約相談を行います。	令和 6 年度は 34 才以下の雇用保険受給者及びその他一般求 職者の職業相談の窓口を集約し、時間をかけてじっくり相談できる 体制を整備しました。 年 4 回、集団での面接対策等のセミナーを開催したほか、個別予 約相談によりキャリアインサイトや jobtag を使った自己分析、求人 選定、応募書類の添削、模擬面接等の就職支援の結果、多数正 社員就職へと導きました。	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（1） 家庭教育への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-1-1 家庭教育への支援 【地域教育支援課】	家庭教育の向上を図るため、地域を対象とした「地域育成者講習会」の実施、子育て等に関する学習を行う団体等への支援を行います。また、児童・生徒の保護者に配布する家庭教育パンフレットの制作を行うことにより、親子のふれあい・子どもの自主性・家庭における教育の大切さについての意識啓発を推進します。	<p>■家庭教育学級補助金交付 交付団体 11 団体、参加人数 700 名</p> <p>■家庭教育支援講座 実施回数 2 回、参加人数 100 名</p> <p>■地域育成者講習会 実施回数 1 回、参加人数 96 名</p> <p>■子育て通信の発行 区立幼稚園・小学校 1～3 年生保護者対象に発行（季刊発行）</p>	A
2-1-2 P T A への支援 【地域教育支援課】	家庭の教育力の向上を図るため、児童・生徒の保護者等を対象として、小・中それぞれの連合 P T A が実施する研修大会やブロック研修などを支援します。	<p>■墨田区立小学校 P T A 協議会研修大会（10 月 25 日） 参加者：95 名</p> <p>■墨田区立中学校 P T A 連合会研修大会（11 月 22 日） 参加者：350 名</p>	A
2-1-3 「小学校すたーとブック」及び「中学校入学プレブック」の配布 【すみだ教育研究所】	小学校入学間近の子どもの保護者及び小学校 6 年生に冊子を配布します。子どもと保護者が、就学・進学に向けた準備や心構えを持ち、学校生活をスムーズに始められるようにします。	<p>■小学校すたーとブックを区立幼稚園及び保育園、私立幼稚園及び保育園、認証保育所、認可外保育所、区内小中学校、区内施設等に約 2,300 部配付しました。</p> <p>■中学校入学プレブックを区内小中学校に約 2,000 部配付しました。</p>	A
2-1-4 家庭における読書活動の推進 【ひきふね図書館】	<p>○ブックスタート事業 3・4 か月健診時に、乳児と保護者に絵本の手渡しと読み聞かせのアドバイスを行うとともに、幼児向けブックリストを配布し、家庭において子どもとのスキンシップを深め、豊かな情緒を育むための読書の推進を図ります。</p> <p>○家読（うちどく）の啓発 1 冊の本を通じて家族で読書を楽しめる「うちどく E 読書ノート」の配布や保護者向け講演会の開催を通じて、家庭における読書活動の推進を図ります。</p>	<p>○ブックスタート事業 配布絵本「たっちだいすき」 実施回数：57 回 実施人数：1,994 人（対象者 2,107 人） 実施率：94.6%</p> <p>○家読（うちどく）の啓発 「うちどく E どくしよノートの配布」 679 部</p>	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（1） 家庭教育への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-1-5 子育て支援拠点事業 【子育て支援総合センター】	在宅での子育てを支援する拠点施設として、さまざまな子育て支援サービスの提供や調整のほか、相談等の総合的な子育て支援事業を行います。	利用者数 ・両国子育てひろば 32,040 人（うち新規登録 1,232 人） ・文花子育てひろば 24,939 人（うち新規登録者 743 人）	A
2-1-6 子育てひろば 【子育て支援総合センター】	子育て相談に関する関係機関との連携を図り、子育て相談・ひろば事業を両国子育てひろば及び文花子育てひろばで実施します。	■両国子育てひろば 利用者：32,040 人（うち新規登録 1,232 人）、相談件数：1,485 件 ■文花子育てひろば 利用者数：24,939 人（うち新規登録者 743 人）、相談件数：1,663 件	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（2） 家庭・地域・学校の連携

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-2-1 学校運営連絡協議会 【指導室】	学校運営連絡協議会を各学校に設置し、学校の課題解決に向けて、家庭・地域・学校が果たすべき役割や学校の支援について協議するなど、開かれた学校づくりを推進することで、家庭・地域・学校の協働体制を構築します。	<p>■学校運営連絡協議会の実施学校・幼稚園 小学校 23 校、中学校 9 校、幼稚園 3 園</p> <p>■コミュニティ・スクールの導入 3 校（第三吾婦小、八広小、豎川中）</p>	A
2-2-2 学校公開 【指導室】	定期的に授業を公開し、保護者が児童・生徒の学習や生活の様子を実際に見る機会を設けることで、学校の教育活動やその方針についての理解を深めます。	<p>■区立幼稚園、小・中学校で実施しました。</p> <p>■前期・後期で一回以上実施しました。</p> <p>■土曜授業は基本的に公開授業としました。</p>	A
2-2-3 放課後子ども教室の推進 【地域教育支援課】	放課後子どもたちの安全で健やかな居場所づくりを推進するため、区立小学校の施設を利用して、学校、PTA 及び地域住民等が連携し運営する放課後子ども教室を推進します。	<p>区立小学校 21 校（うち、いきいきスクール 5 校）で実施しました。</p> <p>・実施校数：21 校（うち、休止 1 校）（前年度 21 校）</p> <p>・延べ実施回数：1,344 回（前年度 1,256 回）</p> <p>・延べ参加児童数：61,871 人（前年度 61,974 人）</p> <p>・延べスタッフ数：8,786 人（前年度 8,244 人）</p>	A
2-2-4 学校支援ネットワーク事業の推進 【地域教育支援課】	子どもたちに多様な体験・価値ある体験の場を提供するため、出前授業等を通して、地域力（地域住民・企業等）を学校の教育活動に取り入れ、地域等で学校を支援します。	<p>■外部講師派遣事業 協力団体数：304 団体 派遣講師数：1,032 名</p> <p>■実施学校数：延べ 258 校</p> <p>■参加児童生徒数：23,327 名</p> <p>■地域コーディネーターによる学校訪問</p> <p>■学校支援ネットワークニュースの発行</p> <p>■学校支援ネットワークフォーラム（8 月 27 日）</p> <p>■学校支援ネットワーク事業業務の一部委託</p>	A
2-2-5 学校による家庭訪問又は面談 【指導室】	教員の家庭訪問や、保護者の来校による面談などを実施し、学級担任と保護者が懇談する機会をもつことで、児童・生徒の理解と学校の教育活動に関する理解を深めます。	<p>保護者が来校してスクールカウンセラー面談を実施しました。</p> <p>【面談件数】 小学校：3,316 件 中学校：908 件</p>	A
2-2-6 学校における地域人材の活用 【指導室】 【すみだ教育研究所】	地域の方をゲストティーチャーとして学校に迎え入れたり、職場体験や特別活動、地域調べ・学習支援で地域の協力を得るなど、地域と連携した学校の教育活動を支援します。	<p>【指導室】</p> <p>■すみだ水族館出前授業：5 件</p> <p>■相撲出前授業：5 件</p> <p>■アストロスケール：2 件</p> <p>【すみだ教育研究所】 すみだスクールサポートティーチャー活動者：187 名</p>	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（2） 家庭・地域・学校の連携

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-2-7 青少年育成委員会活動への支援 【地域教育支援課】	青少年の非行防止等健全育成を図るため、青少年対策施策への協力や、各地域における自主的な青少年健全育成活動を実施している青少年育成委員会の活動を支援します。	青少年育成委員会連絡協議会委員長会議（9回） 各地区委員会に対する補助金の交付（10件） 各地区委員会に対する物資補助（8件） 共催・後援実績数（23件）	A
2-2-8 青少年委員活動の推進 【地域教育支援課】	青少年の健全育成の振興を図るため、地域の青少年の余暇指導や青少年団体の育成、区の青少年事業への協力など、学校、地域、行政のパイプ役としての活動を展開する青少年委員の活動を推進します。	<ul style="list-style-type: none"> ■各選出地区での地域活動 ■定例会の開催 ■各ブロック会、各実行委員会の随時開催 ■サブ・リーダー講習会の区教委との共催 ■すみだまつり・こどもまつりへの協力 ■はたちのつどいへの協力 ■子ども会活性化事業への協力 	A
2-2-9 学校安全ボランティア事業 【庶務課】	東京都の「子供安全ボランティア」活動の一環で、小学校の保護者と地域の方がボランティア活動として、子どもたちの登下校時における通学路のパトロールや子どもたちへの声かけ運動・あいさつ運動を行います。	登録学校数：19校 登録者数：1,647名	A
2-2-10 携帯電話等活用した情報発信システム 【庶務課】	不審者情報や急な学校行事の変更など緊急性の高い情報を、小中学校、幼稚園及び教育委員会事務局から、保護者の携帯電話等にメールで情報発信します。	お知らせ配信：19,034件	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-3-1 すみだこどもの 110 番運営委員会への支援 【地域教育支援課】	子ども達の登下校時等の安全確保を図るため、子ども達が不審者と遭遇した際の避難場所となる家庭等を登録し、子ども達に周知する P T A 事業である「すみだこどもの 110 番」の活動を支援します。	協力家庭件数：1,750 件（令和6年度末）	A
2-3-2 帰宅呼びかけ放送 【地域教育支援課】	児童・生徒の非行防止や安全確保を図るため、毎日定時に防災無線システムを利用した「帰宅呼びかけ放送」を実施します。	<p>■ 4 月 1 日～9 月 3 0 日 午後 5 時 3 0 分チャイム</p> <p>■ 1 0 月 1 日～3 月 3 1 日 午後 4 時 30 分チャイム</p> <p>それぞれ変更時期前に区報に掲載のうえ周知しています。</p>	A
2-3-3 地域福祉プラットフォーム事業 【地域福祉課】 【墨田区社会福祉協議会】	令和2年度まで墨田区社会福祉協議会が地域の居場所、気軽な相談場所として実施していた「地域福祉プラットフォーム」は、令和3年度から区が進めている包括的支援体制整備事業の地域の拠点として位置づけ、区が墨田区社会福祉協議会に委託して運営しています。（※令和6年11月現在、京島三丁目、本所一丁目、八広五丁目、墨田五丁目、緑四丁目の5カ所で開設）	<p>■ 地域福祉プラットフォーム設置件数：5 カ所 ぶらっと京島（キラキラ茶家）：1,203 人 ぶらっと本所：682 人 ぶらっと八広：2,369 人 ぶらっと墨田：1,533 人 ぶらっと緑：323 人</p> <p>■ 出張プラットフォーム 2 カ所 4 回実施（120 人）</p>	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-3-4 子どもの居場所ネットワークづくり 【墨田区社会福祉協議会】 【地域福祉課】	食事提供活動を通じ、子どもの居場所づくりを行っている区内の団体及び区との連携、ネットワークづくりを支援します。	【墨田区社会福祉協議会】 ■食事提供団体への情報発信及び情報共有（ホームページ掲載団体 12 団体） ■活動団体同士の連携や情報共有を目的に「食で繋がるネットワーク会議」を開催しました。（1 回） ■地域福祉プラットフォームとして、子どもが気軽に参加できるイベント等を開催し、気軽に参加できる居場所づくりを実施しました。（5 か所で 8 回開催） 【地域福祉課】 ■活動団体同士の連携や情報共有を目的に「食で繋がるネットワーク会議」を開催しました。（1 回）	A
2-3-5 児童館事業 コミュニティ会館事業 社会福祉会館事業 【子育て政策課】 【地域活動推進課】 【すみだ人権同和・男女共同参画事務所】	幼児から高校生までを対象に、スポーツやボランティア活動などの様々な交流活動を実施するなど、青少年の健全育成のための支援を行います。	【子育て政策課】 ＜来館者数（児童館12施設（東向島児童館分館含む））＞ 乳幼児：89,447人 小学生：331,597人 中高生：50,872人 一般：143,795 人 【地域活動推進課】 ＜児童室来館者数（コミュニティ会館 3 施設）＞ 東駒形コミュニティ会館：48,631 人 梅若橋コミュニティ会館：16,770 人 横川コミュニティ会館：31,466 人 【すみだ人権同和・男女共同参画事務所】 ＜来館者数（社会福祉会館）＞ 幼児：1,668人 小学生：3,598人 中高生：2,245 人	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
2-3-6 児童館における定期学習会の実施 【子育て政策課】	児童が自主的に学習できる環境を提供するため、児童館における学習会を実施します。	各児童館の指定管理者において、学習会等を開催し、児童・生徒の宿題や自習のサポートを行いました。	A
2-3-7 少年団体の育成 【地域教育支援課】	子ども会における年少指導者を育成する「ジュニア・リーダー研修会」をはじめとした少年団体の自主的な活動に対し、必要に応じて専門的・技術的な助言等の援助を行うことにより、各少年団体の育成及び活動の充実を図ります。	<p>■ JL 研修生 令和 6 年度末：5 2 名</p> <p>■ 研修会 月例研修：9 回 宿泊研修：2 回 研修キャンプ：1 回</p>	A
2-3-8 子ども会活性化への支援 【地域教育支援課】	地域の子どもの健やかな成長を促すため、子ども会に対し、各種レクリエーション種目の紹介や情報提供、技術指導など、子ども会の活動を支援します。	<p>■ すみだレクリエーション大会 (ロープジャンプ X 記録会含む) 実施日：11 月 4 日 参加者：226 名</p> <p>■ 育成者研修会 実施日：11 月 4 日 参加者：120 名</p> <p>■ バドミントン大会 実施日：2 月 16 日 参加者：130 名</p> <p>■ 子ども会数（墨少連加盟数） 69 団体（令和 6 年度）</p>	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-3-9 サブ・リーダー講習会の実施 【地域教育支援課】	地域や学校で活躍するリーダー（ジュニア・リーダーの前身）を養成するため、小学校4～6年生を対象に、グループ活動や野外活動等を通し、基礎的な知識・技能を習得させるとともに、仲間と協力し合うことの大切さなどを学ばせるサブ・リーダー講習会を実施します。	【会場及び参加者数】 ■夏期 区内講習（全2回）横川小学校 宿泊講習（3泊4日）国立那須甲子青少年自然の家 参加者数：37人（募集定員45人） ■冬期 区内講習（全2回）区役所・横川小学校 宿泊講習（1泊2日）千葉市少年自然の家 参加者数：52人（募集定員60人）	A
2-3-10 ネットトラブル対策 【指導室】	青少年のインターネット利用に関する様々な問題に対応するため、青少年健全育成に携わる方々や東京都や関係機関等と連携し、インターネットの適切な利用について普及啓発を実施します。	情報モラル教育モデルカリキュラムやG I G Aワークブックとうきょうを活用した年3回の指導を実施しました。	A
2-3-11 セーフティ教室 【指導室】	幼稚園・小学校・中学校の幼児・児童・生徒を対象に、連れ去り防止・薬物乱用防止、非行・被害防止対策、インターネットの適正利用等を目的とした講演やロールプレイングを実施し、防犯意識や危機対応力を高めます。また、保護者・地域等と学校・警察が一体となって、幼児・児童・生徒の被害防止や非行防止（デートDV・ストーカー被害防止等）についての情報交換を行い、地域で幼児・児童・生徒を守る意識を高めます。	区内全小・中学校で実施しました。	A
2-3-12 デートDV予防啓発講座 【すみだ人権同和・男女共同参画事務所】 【すみだ共生社会推進センター】	交際相手からの暴力や暴言など、DV被害にあわない為に、また、加害者にならない為にデートDVに対する理解促進と予防啓発に努めます。	区内中学校（4校）生徒を対象としたデートDVについての講座を実施しました。 文花中学校、吾嬬第二中学校、吾嬬立花中学校、桜堤中学校 計471名	A
2-3-13 交通安全指導 【庶務課】	児童・生徒に日常の交通安全に必要な事柄を理解させ、常に安全を確認し、正しい判断のもとに安全な行動をとる態度や能力を育てます。特に、交通安全の実践の場は学校の外であるため、家庭や地域社会と連携を密にして進めます。 ○道路での正しい歩き方 ○信号や標識・標示の理解 ○雨の日の安全 ○自転車の正しい乗り方 ○横断歩道・踏切の渡り方、ほか	【実施回数】 幼稚園：12回 小学校：409回 中学校：10回 計：431回	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
2-3-14 スクールサポーター制度 【本所・向島警察署】	警察ＯＢで構成されるスクールサポーターは警察と学校のパイプ役として、児童・生徒の安全確保や非行・犯罪被害防止を目的として、定期的に学校を訪問し、教員へのアドバイスや情報交換を行います。また、少年の溜まり場対策、セーフティ教室の企画立案、不登校対策等を行うとともに、学校・地域に不審者情報等の被害状況の伝達を行っているほか、ＰＴＡと連携した子ども 110 番制度の活性化を図ります。	【本所警察署】 スクールサポーターによる管内小中高校への訪問を積極的に実施し、少年の非行防止や犯罪被害防止の助言や情報交換をする とともに、セーフティ教室等を実施して、子どもに対する安全対策の推進と学校との連携を図りました。 【向島警察署】 管内の小中高校や幼稚園に対して積極的に訪問し、少年の健全育成に関する連携体制をとり、セーフティ教室、非行防止教室、薬物乱用防止教室等を実施しているほか、不審者対策等を教員やＰＴＡと共に行い、見守り活動の一翼を担いました。	A
2-3-15 緊急通報装置等の防犯設備 【庶務課】	非常通報体制「学校110番」、防犯カメラ・モニター、電子施錠等を区立小中学校・幼稚園に導入し、子どもの安全確保を図ります。	非常通報体制「学校 110 番」、防犯カメラ・モニター、電子施錠は全小中学校及び幼稚園に設置しました。	A
2-3-16 通学路防犯設備整備事業 【庶務課】	通学路に防犯カメラを設置することにより、学校、地域が行う児童の見守り活動を補完するとともに、通学路における児童の安全を確保します。	設置台数：124 台 更新台数：30 台	A
2-3-17 学校ＩＣＴ化推進事業 【庶務課】	全教員がＩＣＴ機器を「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」効果的に活用することができるよう、授業改善に資するための環境整備を行います。また、教材コンテンツを共有化する仕組みを構築することで、教員がＩＣＴを活用した指導を継続的にを行い、児童・生徒が意欲的に学ぶことができるような教育活動を展開します。	令和２年度に整備した児童・生徒一人１台タブレットの更新を行いました。	A
2-3-18 防犯ブザーの配布 【学務課】	緊急時にブザーを使用して犯罪被害を未然に防ぐため、小学生に防犯ブザーを配布し、児童の安全確保を図ります。	区内居住及び区立小学校１年全児童への配布を行いました。	A
2-3-19 地域防犯対策 【安全支援課】	○児童の下校時にあわせて、青色防犯パトロールカーによる区内巡回パトロールを実施します。 ○町会・自治会等が連携して防犯カメラを設置する場合に助成します。 ○地域において自主防犯活動をしている団体を支援するため、防犯パトロール用品を支給します。	○毎日午前９時～翌２時までパトロールを行いました。 ○防犯カメラの更新・増設・維持等経費に助成を行いました。 ○地域団体へベスト等の防犯用品を支給しました。	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
2-3-20 安全・安心メール 【安全支援課】	スマートフォンやパソコン等に、「すみだ安全・安心メール」として区内の防災・防犯情報等を配信します。	防災情報を 68 件、防犯情報を 293 件、その他事故情報等を 34 件配信しました。	A
2-3-21 有害環境の浄化活動 【地域教育支援課】	青少年に対し著しく性的感情を刺激し、健全な成長を阻害するビラやチラシ、ポスター、不健全図書（雑誌）成人向けＤＶＤ等の適正な取扱いを目指して、地区青少年育成委員会と連携し、実態調査や自粛又は撤去の要請等を行い、有害環境の浄化を図ります。	7 月の「青少年非行・被害防止全国強調月間」に合わせ、各地区育成委員会が中心となり、実態調査や不健全図書等の取扱い自粛又は撤去の要請等を行いました。	A
2-3-22 薬物乱用防止活動 【生活衛生課】 【指導室】 【地域教育支援課】	年々低年齢化する麻薬、覚せい剤、シンナー等の薬物禍から青少年を守るため、関係機関・団体、地域社会が連携して薬物禍撲滅活動を実施します。また、学校においては、薬物乱用防止マニュアル等を活用した教育を実施するとともに、保護者に対してリーフレットを配布し啓発活動を進めます。	【生活衛生課】 薬物乱用防止ポスター・標語の募集（6～9 月）、表彰式（10 月）、作品展（12 月） 啓発看板（区立中学校 10 校に設置）の更新を行いました。 【指導室】 区内全小・中学校で「薬物乱用防止教室」を実施しました。 【地域教育支援課】 小学校 1・4 年生及び中学校 1 年生の保護者を対象とした家庭教育パンフレット「おやこいっしょに」を配布しました（年度当初）。	A
2-3-23 すみだまつり・こどもまつりでの P R 活動 【地域教育支援課】	青少年の非行・被害防止・健全育成についての現況、対策及び育成委員会活動について、すみだまつりの会場（錦糸公園）でチラシ等を配布するなど、青少年の非行・被害防止の活動 P R と意識啓発を図ります。	青少年育成委員会連絡協議会として、令和 6 年度からはすみだまつり・こどもまつりの出展は見合わせ、キャンパスコモンすみだで開催された「こどもわくわくフェスティバル」に出展し、青少年の非行・被害防止の活動 P R や意識啓発を行いました。	A

■基本方針 2 子ども・若者の健やかな成長を社会全体で支えるための環境整備

■方向性（3） 子ども・若者の育成環境の整備

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
2-3-24 交通安全運動 【土木管理課】	<p>○各小学校にスクールゾーン対策連絡会を設置し、交通安全活動を行うとともに定期的に意見交換会を開催して、危険箇所の把握と改善を行うなど、登下校時の交通事故の防止を図ります。</p> <p>○警察署と協力して自転車安全運転教室の参加者に自転車安全運転免許証を交付することで、自転車利用者の安全意識の啓発を図ります。また、自転車利用のルール及びマナー向上を図るため、スタントマンによる交通事故を再現した交通安全教室を実施するとともに、すみだまつり・こどもまつりで交通ルール及び自転車の利用マナーの啓発活動を行います。</p>	<p>○スクールゾーン自主推進地区対策連絡会・登下校防犯対策連絡会全体意見交換会 令和6年11月25日（月）開催</p> <p>○スケアード・ストレイト方式による自転車交通安全体験教室 令和6年4月25日（木） 都立両国高等学校・付属中学校で開催しました。</p> <p>○すみだまつり・こどもまつり 令和6年10月5日（土）・6日（日） 錦糸公園にて自転車シミュレータによる交通安全教室を実施しました。</p>	A
2-3-25 健康づくりのための環境整備 【公園課】	子どもたちの健やかな成長を促し、楽しく遊ぶことのできる場所を提供するため、様々な遊具や健康器具の設置も含めて、公園を整備していきます。	東墨田第一公園及び大横川親水公園の公園整備を行い、遊具や健康器具を設置しました。	A
2-3-26 ボール遊びができる公園等の整備 【公園課】	子どもたちが、外でボール遊びができる環境づくりに向けて、既存公園等にボール遊びができる広場の整備を進めています。	東墨田第一公園及びひいらぎ広場にボール遊び広場を整備しました。	A
2-3-27 総合運動場等整備事業 【スポーツ振興課】	スポーツを通じ、異なる世代の人々の価値観を超えた交流を促進するとともに、青少年等の社会教育活動を行う施設として整備を進めます。	令和元年11月に整備が完了し、12月1日に開場しました。 (令和元年度完了)	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（1） いじめ・不登校対策

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
3-1-1 いじめ防止対策の推進 【庶務課】 【指導室】	「墨田区いじめ防止対策推進条例」に基づき、いじめ防止対策基本方針やプログラム、対応マニュアルを作成し、保護者、地域、事業者等の連携のもと、地域社会全体でいじめの防止、早期発見、早期対応の取組強化を推進します。	【庶務課】 墨田区いじめ問題対策協議会を開催しました。（年1回） 【指導室】 ■小学校2年生から中学3年生にW E B健康観察システムを活用しました。 ■小学校4年生から中学3年生に匿名報告・相談アプリを活用しました。 ■いじめアンケートを年3回実施しました。	A
3-1-2 教育相談事業 【すみだ教育研究所】	幼児・児童・生徒と、その保護者を対象に、子どもの教育上のさまざまな悩みに対して相談に応じ、その解決のための助言や支援を行っています。また、電話相談として「親子電話相談」「ヤングテレフォン相談」を実施しています。	令和6年11月にすみだ保健子育て総合センター内に教育センターを設立後、関係部署と連携しながら「来室相談」及び「電話相談」を実施しています。令和6年度については来室相談が211件、電話相談については140件の相談を受けています。	A
3-1-3 スクールサポートセンター事業 【教育センター】	スクールサポートセンターにおいて相談を行い、早期対応ときめ細やかな支援を実施することで、不登校や問題行動、子育てに関する問題など、多様化する健全育成上の課題を解決し、児童・生徒が有意義で充実した学校生活が送れるようにします。	■不登校に関する相談を受け、ステップ学級・サポート学級への入級につなげました。 ・サポート学級入級者：30名 ・ステップ学級入級者：39名 ※教育センター開設に伴い、サポート学級とステップ学級を統合し、教育支援センター事業として実施しました（令和6年11月5日～）。	A
3-1-4 スクールカウンセラーの配置 【指導室】	児童及び生徒の臨床心理に関して高度に専門的な知識・経験を有する臨床心理士等をスクールカウンセラーとして学校に配置し、いじめや不登校の未然防止、改善及び解決並びに学校内の相談体制等の充実を図ります。	小学校5年生、中学校1年生の全員に面談を行いました。	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（1） いじめ・不登校対策

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
3-1-5 ステップ学級運営事業 【教育センター】	学校に適應できない長期欠席の児童・生徒に対して、集団への適應指導や学力補充援助等、基礎的生活習慣の育成を図ることで、長期欠席児童・生徒が自らの意思により学校に復歸することを支援します。	令和6年11月にすみだ保健子育て総合支援センターに移設後、ステップ学級・サポート学級のプログラムについては継続させながら、教育支援センターとして事業を統合しました。令和6年度は教育支援センターで69名の長期欠席児童・生徒への支援を実施しました。	A
3-1-6 不登校防止対策の推進 【指導室】	「墨田区立学校不登校対策基本方針」に基づき、保護者、地域、関係機関と連携し、各小中学校が組織的に不登校の予防・早期発見及び解消を図ります。	連携を図ることで、令和6年度の不登校児童・生徒数が昨年度よりも減少しました。	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（2） 障害のある子ども・若者への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
3-2-1 乳幼児への療育 【障害者福祉課】	みつばち園・にじの子等において、心身の発達に心配がある未就学児等に、日常生活における基本的な動作の指導、知識技能の付与、集団生活への適応訓練などを行います。	児童発達支援（未就学児） 令和7年3月支給決定件数：806	A
3-2-2 幼稚園・保育所等における障害児教育・保育等 【学務課】 【子ども施設課】 【子育て政策課】	○区立幼稚園では、一定の条件の下で、特別な支援を要する幼児の受け入れを実施します。 ○保育所等では、一定の条件の下で、障害児の受け入れを実施します。 ○学童クラブでは、一定の条件の下で、障害児の受け入れを実施します。	【学務課】 就園指導委員会の開催（①8/1、②12/12） ②在園幼児の判定：4歳児1人、介助員1人 ②新入園児の判定：新4歳児8人、介助員6人 【子ども施設課】 家庭や療育機関、巡回心理相談員との連携を図りながら、支援を要する児が安心して過ごせる保育環境を整え、保育を通して特性に応じた支援を行いました。 【子育て政策課】 心理相談員による巡回や状況に応じた非常勤の配置をすることで、児童に遊びと生活の場を与え、健全な育成を図りました。 障害児承認人数：68人（月別最大利用者数）	A
3-2-3 学齢児への療育 【障害者福祉課】	放課後等デイサービスにより、心身に障害がある18歳未満の就学児に、放課後または学校休業日などに、生活能力向上のための訓練や社会交流を行います。	放課後等デイサービス（就学児） 令和7年3月支給決定件数：662	A
3-2-4 就学相談 【学務課】	初めて小学校に入学するお子さんや、中学校への進学、転学等についての相談を行います。医師や専門家等による就学相談委員会により、児童・生徒一人ひとりの障害や能力に応じて、もっとも適切な学びの場について判断し、支援します。	令和6年11月にすみだ保健子育て総合センター内に教育センターを設立後、移転して事業実施を行いました。 就学相談委員会：11回 （うち5回、教育センター開設後実施） （うち1回、臨時会を含む） 行動観察及び専門医診断：19回 （うち9回、教育センター開設後実施） 就学相談件数：369件	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（2） 障害のある子ども・若者への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
3-2-5 特別支援学級・教室の運営 【学務課】	<p>○知的障害のある児童・生徒が在籍する固定学級や、日常は通常学級で学びながら週一回程度通って指導を受ける通級指導学級を運営します。</p> <p>○情緒障害等がある、より多くの児童・生徒が障害の状態に応じた特別な指導支援を受けられるようにするため、区立の全小・中学校に特別支援教室を設置し、発達障害教育を担当する教員が各学校を巡回して指導します。</p>	<p>【特別支援学級（固定学級）】</p> <p>小学校：9校 25学級、中学校：5校 11学級</p> <p>【通級指導学級】＊特別支援教室は全校設置</p> <p>難聴：小学校：1校 1学級、中学校：1校 1学級</p> <p>言語：小学校：3校：5学級</p>	A
3-2-6 特別支援教育の推進 【学務課】 【指導室】	<p>【学務課】</p> <p>○特別支援教育の実施に伴い、必要に応じて教室の整備・工事等を行います。</p> <p>○介助があれば通常学級で学ぶことができる児童・生徒のため、在籍校に介助員を配置します。</p> <p>【指導室】</p> <p>○区立幼稚園・小・中学校では、障害がある幼児・児童・生徒をはじめ全ての幼児・児童・生徒について、一人ひとりの教育的ニーズの把握、分かりやすい授業の展開、安心・安全に生活できる環境の整備を推進します。</p>	<p>【学務課】</p> <p>○手すり取付工事（二葉小・両国小）</p> <p>○自閉症・情緒障害特別支援学級開設準備（横川小・第三寺島小・錦糸中）</p> <p>○介助員の配置（両国小・第四吾嬬小）</p> <p>【指導室】</p> <p>○教員等対象の研修を実施しました。（計15回）</p> <p>通常学級担当者対象：1回</p> <p>特別支援学級担当者対象：1回</p> <p>特別支援教育コーディネーター対象：2回</p> <p>特別支援教室巡回指導教員対象：3回</p> <p>多層指導モデル（M I M）研修：2回</p> <p>特別支援教室専門員対象：2回</p> <p>特別支援教室新規採用教員対象：4回</p>	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性 (2) 障害のある子ども・若者への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-2-7 すみだ教室の実施 【地域教育支援課】	中学校特別支援学級及び特別支援学校を卒業した知的障害者を対象に、社会生活に必要なルールやエチケットを学ぶとともに、仲間づくりを中心に社会的自立を促すため、日曜青年教室を開催し、様々な活動を行います。	<p>■実施日…令和 6 年 5 月 19 日から令和 7 年 2 月 2 日まで ※年間 19 回、原則第 1・3 日曜日</p> <p>■人数…受講生 69 名（修了証授与者数 61 名）、講師・ボランティア 26 名</p> <p>■主な行事</p> <p>(1)開校式（5 月 19 日・本所中学校）</p> <p>(2)宿泊研修（9 月 28 日～29 日 栃木県）</p> <p>(3)四区合同レクリエーション大会（10 月 27 日）</p> <p>(4)もちつき交流会（12 月 15 日・本所中学校）</p> <p>(5)閉校式（2 月 2 日・本所中学校）</p>	A
3-2-8 就労継続支援事業 【障害者福祉課】	就労が困難な障害者で、作業能力がある方を対象に、作業支援、就労支援、生活支援、健康管理を行います。	<p>■すみだふれあいセンター通所者数 49 名（令和 7 年 3 月 31 日現在）</p> <p>■すみだふれあいセンター総支給工賃額 10,865,061 円（令和 6 年度）</p>	A
3-2-9 すみだ障害者就労支援総合センター 【障害者福祉課】	障害のある方が、地域において経済的・社会的に自立し、安定した生活を送るために、ハローワーク墨田等の関係機関と連携し、企業就労等の機会拡大を図るとともに、職業訓練、就職支援、職場定着支援、生活支援等を行います。	<p>■移行支援事業所 ゆめたまご すみだ 利用者数延べ 28 名、うち就職者数 8 名</p> <p>■就労生活支援事業所 あったまるん すみだ 支援件数 延べ 17,862 件</p>	A
3-2-10 墨田区福祉作業所ネットワーク K A I 【障害者福祉課】	ネットワークの場を通じ、福祉作業所が区のクリエイターによる「すみのわプロジェクト」などにより自主生産品開発に取り組みます。また、作業所利用者による生産品を「スカイワゴン」等での販売を通じ、利用者の工賃アップ、やりがいにつながります。	<p>■新商品ブランド（すみのわ） 総売上額：5,733,975 円</p> <p>■スカイワゴン等（共同販売展等含む） 総売上額：6,920,230 円</p> <p>■スカイワゴン等（共同販売展等含む） 開店日数：102 日</p>	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（3） 若者無業者（ニート）・ひきこもり対策

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和6年度)	総合評価 (令和元～6年度)
3-3-1 思春期相談・思春期講演会 【健康推進課】	児童精神科医及び臨床心理士が、学齢期から青年期における不規則な生活、摂食障害、ひきこもり、不登校、思春期のうつ、自傷行為、自殺未遂、暴力、発達の心配等に対して対面相談に応じます。そのほか思春期講演会を開催し、家族や本人への理解を深めるとともに、一般への知識の普及活動を行います。	思春期相談（医師相談）来所相談数 16 件 思春期相談（心理士相談）来所相談数 13 件 思春期講演会 形式：オンデマンド配信 テーマ：「ADHD・ASDの特性と対応～就学前から学童期を中心に～」 参加者数：100 名	A
3-3-2 若者の居場所づくり支援 【保健予防課】	こころの悩みや生きづらさを感じている若者が、自宅以外で安心して過ごせる居場所（カフェ）を定期的の実施し、ストレスへの対処法やソーシャルスキルを身につけ、前へ進むための支援を行います。	居場所（すみだみんなのカフェ）12 回、個別相談 2 回、講演会 1 回	A
3-3-3 若者や子育て世代等の女性など に対する就労支援 【経営支援課】	若者や子育て世代等の女性、求職者の保護者を対象に、キャリアカウンセリング（個別相談）を行う「就職・仕事カウンセリングルーム」を開設し、より多くの人材が区内企業等に就職できるよう支援します。	・キャリア相談・臨床相談数：延べ 473 人 ・就職者数：35 人	A
3-3-4 ヤング相談コーナー等における他 機関への紹介 【ハローワーク墨田】	34歳以下の若年求職者を対象とした職業相談窓口において、相談内容に応じて保健センターや地域若者サポートステーション等への紹介を行います。	区の就労支援員の引率による職業相談や、当所の専門援助第二部門への誘導及び地域若者サポートステーションの案内等、相談内容に応じて適切な機関へ誘導しました。	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（４） 非行・犯罪への対策と子ども・若者への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-4-1 地域教育懇談会 【地域教育支援課】	地区青少年育成委員会と連携し、各地域における青少年の非行化の実態や問題傾向等の情報交換、関係機関・団体の活動の連絡調整を行うとともに、地域における青少年の健全育成の意識の啓発を図ります。	各地区青少年育成委員会が、青少年の健全育成のため、地域の実情に合わせて問題傾向等の情報交換や関係団体との連絡調整、地域に向けての啓発活動に取り組みました。	A
3-4-2 地域パトロール 【地域教育支援課】	地区育成委員会等関係機関・団体と連携して、夏休みや年末年始、祭礼、縁日など、定期的にパトロールを実施し、青少年への指導や安全確保に努めます。	7 月の「青少年非行・被害防止全国強調月間」に合せ、各地区育成委員会が中心となり、警察等各種団体と連携してパトロールを行いました。	A
3-4-3 墨田区青少年健全育成区民大会 【地域教育支援課】	国が主唱する「子供・若者育成支援強調月間」に呼応して、各地区の非行・被害防止等の啓発活動を集約し、区民等に対し、青少年健全育成の意識の高揚を図ります。	青少年育成委員会連絡協議会・区・警察が主催となり、青少年健全育成活動関係者が一堂に会する場で、青少年の健全育成について広く区民に呼びかけました。 実施日：11 月 23 日（土）	A
3-4-4 墨田区青少年非行・被害防止強調月間 【地域教育支援課】	国が主唱する「青少年の非行・被害防止全国強調月間」に呼応して、関係機関・団体、地域住民等がそれぞれ実施する非行・被害防止活動を集中的に実施して、青少年の非行・被害防止の徹底を図ります。	<ul style="list-style-type: none"> ■ 懸垂幕の掲出（7 月 1 日～31 日） ■ 青少年健全育成作文募集 ■ 青少年育成委員会による有害環境点検調査・自粛要望活動 ■ 社会を明るくする運動（中央集会（7 月 13 日）及び各分区での地域集会の開催） ■ 区のお知らせによる啓発 	A
3-4-5 ふれあい協議会 【本所・向島警察署】	町会等を対象に防犯講座等を開催する「ふれあい諸活動」を通じて、非行防止や青少年の健全育成を図っています。	<p>【本所警察署】</p> <p>町会等を対象にふれあい連絡協議会を開催し、いわゆる闇バイトへの対策をはじめとした青少年の非行防止や健全育成を図りました。</p> <p>【向島警察署】</p> <p>ふれあい連絡協議会を随時開催し、町会・自治会の参加者に対し、講話や協力依頼を通じて、青少年健全育成活動の浸透を図りました。</p>	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（４） 非行・犯罪への対策と子ども・若者への支援

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-4-6 サイバーパトロールの実施 【本所・向島警察署】	ウェブサイトや電子掲示板等を閲覧して違法・有害情報（※）の有無を調査するサイバーパトロールを実施し、違法・有害情報を発見した場合には、違法行為の検挙、プロバイダや電子掲示板の管理者等に対する削除の要請等の措置を講じ、違法・有害情報の氾濫防止に取り組み、青少年の犯罪・被害防止を図ります。 （※）違法情報 児童ポルノ画像、わいせつ画像、覚せい剤等規制薬物の販売に関する情報等インターネット上に掲載すること自体が違法となる情報 （※）有害情報 違法情報には該当しないが、犯罪や事件を誘発するなど公共の安全と秩序の維持の観点から放置することのできない情報	【本所警察署】 各種警察活動により得たインターネット情報を精査し、違法・有害情報への適切な対応を図りました。 【向島警察署】 サイバー空間上における違法・有害情報に対し、情報や内容を見極めた後、適切な対応を図りました。	A
3-4-7 更生保護活動 【墨田区保護司会（地域教育支援課）】	人の立ち直りを支える活動「更生保護」において、保護司法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた保護司が、更生に向けた指導や助言等を行う保護観察、犯罪や非行を未然に防ぐ犯罪予防活動、釈放後の居場所や就職先の確保といった生活環境の調整を行います。	社会を明るくする運動推進委員会の構成員として事業に携わりました。 すみだまつり・こどもまつりに参加し、P R 活動を行いました。	A
3-4-8 社会を明るくする運動 【墨田区保護司会】 【地域教育支援課】	人の立ち直りを支える活動「更生保護」において、保護司法に基づき、法務大臣から委嘱を受けた保護司が、更生に向けた指導や助言等を行う保護観察、犯罪や非行を未然に防ぐ犯罪予防活動、釈放後の居場所や就職先の確保といった生活環境の調整を行います。	■第 74 回“社会を明るくする運動”の広報活動キャンペーン実施（令和 6 年 7 月 1 日） ■第 74 回“社会を明るくする運動”中央集会実施（令和 6 年 7 月 13 日） ■第 74 回“社会を明るくする運動”講演会実施（令和 6 年 9 月 9 日） ■第 74 回“社会を明るくする運動”作文コンテスト審査会実施（令和 6 年 9 月 11 日）	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（５）特に配慮が必要な子ども・若者への支援（ひとり親・生活困窮家庭、自殺対策、外国人、性同一性障害等）

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-5-1 母子生活支援施設 【生活福祉課】	配偶者のいない親が、経済的な理由や住居がない等の事情で子どもの養育をすることが困難な場合に、母子を入所させて保護するとともに、自立の促進のためにその生活の支援を行います。	区内 2 施設平均入所世帯数 33 世帯 82.5% (定員 40 世帯) ・厚生館立花（私立） ・ベタニヤホーム(私立)	A
3-5-2 母子緊急一時保護事業 【生活福祉課】	緊急に保護を必要とする母子を、区の指定施設に一時入所させ、相談、助言を行い、自立更生の措置を講ずるまでの応急的措置を図ります。	緊急一時保護件数：15 件	A
3-5-3 ひとり親家庭自立支援給付金 事業 【生活福祉課】	【自立支援教育訓練給付金】 国から指定を受けた教育訓練講座を受講する際に、費用の一部を給付します。 【高等職業訓練促進給付金】 看護師、介護福祉士、保育士、理学療法士、作業療法士、保健師、助産師、理容師、美容師、歯科衛生士、製菓衛生士、調理師等の資格取得のために訓練機関で修業する場合に、修業期間中、訓練促進給付金を給付します。	・自立支援教育訓練給付金 5 件 670,061 円 ・高等職業訓練促進給付金 23 件 24,404,500 円 ・高等職業訓練修了支援給付金 9 件 400,000 円	A
3-5-4 子どもの学習・生活支援事業 【地域福祉課】	貧困の連鎖防止を図るため、生活困窮世帯の子どもに対する学習支援・生活支援を行います。 具体的には、一年間通して実施する学習会と、長期休み期間に宿題をサポートする学習会を行っています。	【通年学習会】 北部会場：53 回、南部会場：53 回 【長期休み宿題サポート学習会】 北部会場：15 回、中部会場：15 回、 南部会場：15 回	A
3-5-5 外国人等児童・生徒のための日本語指導及び学習支援 【指導室】	外国人等児童・生徒が基礎的な日本語の定着を図るために、日本語級指導教室や「すみだ国際学習センター」において、段階的な学習支援を行います。また、外国人児童の日本語での教科学習等の支援を行うために一定期間、日本語支援員（通訳介助）を実施します。	■日本語通級指導教室（梅若小学校、文花中学校（夜間学級））、日本語指導加配教員設置校（柳島小・立吾婦小・錦糸小・錦糸中）で日本語指導を行いました。 ■中学生に対しては、すみだ国際学習センターで初期指導を行いました。 ■児童一人当たり 96 時間の通訳介助を行い、保護者に対しても通訳介助を行いました。	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（５） 特に配慮が必要な子ども・若者への支援（ひとり親・生活困窮者、自殺対策、外国人、性同一性障害等）

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-5-6 区民相談 【広報広聴担当】	すみだ区民相談室では、区内在住・在勤・在学の方を対象に、日常抱える問題や悩み事などに対して、相談員が面談等により問題解決のアドバイスをします。外国人相談として、中国語・英語通訳者付きの相談を行います。	週 1 回（水曜日）実施 中国語：10 時～12 時、相談件数 28 件 英語：13 時～15 時、相談件数 7 件	A
3-5-7 子ども・若者への見守り支援 【民生・児童委員（地域福祉課）】	地域において、特に配慮が必要な子ども・若者の把握に努め、関係機関につなげます。	関係機関の連携を強化するために、地区連絡協議会（四者協）を開催し、特に配慮が必要な子ども・若者について知見を深めました。 【実施日】 令和 6 年 8 月 7 日（水） 【基調講演】 「ゲームやスマホと上手につきあえない子どもたち」 【分散会】 「親と子の未来をつなごう すみだの子育て」 【参加者】 民生・児童委員、主任児童委員、江東児童相談所、小・中学校、子育て支援総合センター、保育園、児童館等 99 名	A
3-5-8 ゲートキーパー研修 【保健予防課】	区民や地域生活の様々な場面・分野における相談支援活動に関わっている方等を対象に、その活動の中で、自殺のサインや支援が必要な人に気づき、関係機関につなげる目的でゲートキーパー研修を実施します。	区立学校生活指導主任等に 1 回実施しました。	A
3-5-9 すみだ こころと生活の相談窓口 【保健予防課】	様々な悩みに対応する相談窓口の連絡先を掲載したリーフレット「すみだ こころと生活の相談窓口」を区及び区施設の窓口や区内関係機関で配布します。	5,100 部を作成し、区関係機関・医療機関等に令和 6 年度から令和 7 年度にかけて配布しました。	A
3-5-10 小中学生向け啓発物の配布 【保健予防課】	小学校 5・6 年生と中学生向けに、悩みの相談先やこころの S O S チェックを掲載した啓発物を配布します。	12,500 部を作成し、区内小中学校、児童館等に配布しました。	A

■基本方針 3 困難を有する子ども・若者やその家族への支援

■方向性（５） 特に配慮が必要な子ども・若者への支援（ひとり親・生活困窮者、自殺対策、外国人、性同一性障害等）

事業名 【担当課・機関】	内容	事業実績 (令和 6 年度)	総合評価 (令和元～6 年度)
3-5-11 性的マイノリティの人の人権等 様々な人権問題に関する啓発 【すみだ人権同和・男女共同参 画事務所】	教育委員会事務局と連携し、必要な情報提供をします。また、広報紙や 機会を捉えて様々な人権問題に関する啓発に取り組みます。	人権尊重教育推進校である区立梅若小学校第 6 学年 60 名を対象に男女 共同参画啓発講座を実施しました。	A
3-5-12 児童虐待に関する相談 【子育て支援総合センター】	18歳未満の子どもの虐待に関する対応を行います。問題解決にあたって は、江東児童相談所と連携を図っています。	18 歳未満の子どもの虐待に関する対応を行いました。問題解決にあたっては、 江東児童相談所と連携を図りました。	A
3-5-13 児童相談 【江東児童相談所】	18歳未満の子どもに関するあらゆる相談を受け、児童福祉法に基づく対 応を行います。問題解決にあたっては、子育て支援総合センターと連携を 図っています。	墨田区子育て支援総合センターと連携しながら相談対応を実施しました。	A



ひと、つながる。
墨田区

発行

墨田区教育委員会事務局地域教育支援課

〒130-8640

東京都墨田区吾妻橋一丁目23番20号

電話：03-5608-6503（直通）

メール：CHIIKIKYOUIKU@city.sumida.lg.jp